

# けあとも

発行  
ケアサービスとも  
平成30年3月  
第43号

## 学ぶとは

牧野 義明

私達が「学ぶ」というと「多くのことを学ぶ」のか、「二つのことを深く学ぶ」のかどちらかになります。「学ぶ」を辞書で見ると「教えてもらって覚える」「まねて知る」「見習って覚える」「勉強をする」「経験してよく知る」とあります。このように多くの意味内容を含んでいますが、基本的には「新しい知識を得る」「あることを体験する」ということで、その人が習得して成長し、成熟していくことにあります。

何事かが知識として理解され、習得され、自分のものとなることからさらに、その人の生き方全体に及ぼされて深まっていくことです。

そして、この「学び」とは自分の中で終わるのではなく、他者へ影響を与えていくものとして身につくものといわれています。

例えば「A」を学ぶとは、その人が「A」と

いうものを取り込んで生きていく、そして生きていく中で色々な壁にぶつかりながらも「その人独自のA」を創り出し、その創り出されたAというものがその人のものとなって周囲の人へと影響を及ぼしていくことです。

そこに人間の人間たるゆえんのものがあるといえます。

この意味で「学ぶ」とは、人から人間となっていく過程でもあるいええます。

このように外部の働きかけに内側から応えるという形で展開する「学び」というものが、人間として成長していくために必要なものとして学び取られていく事であり、このことが、人間観においてどのように理解され、その人のものとなって表現され、かつ人間としての成長を促し、その学んだ事をその人なりに咀嚼されその人のものとなっていくことが真の学びといえます。

## 福祉職に求められるもの

人間をみるということは、人間に対する深い洞察を要します。ややもすると人間が持つ形のないもの、目に見えないものが信じられず、物やお金や学歴、地位等の有形のものが信じられやすく、その尺度によってその人を見、評価し

## 新人職員の声

(訪問看護事務) 岡崎 伸子

昨年五月に入社し、八カ月が経ちました。訪問看護の事務は、介護保険の経験しかない私にとって、とても難しく、医療保険のしくみを周りの皆さんに教えて頂きながら、一生懸命勉強しているところです。また、音楽療法にも関わらせて頂いていますが、色々な事業所の方々から多くのことを学ばせて頂き感謝しています。

毎日仕事をする中で、ただ目の前のことをこなすのではなく、よりよいものにするにはどうしたらいいだろうと、常に向上心を持って取り組むことをこれからも心掛けていきたいと思っています。

(ケアマネ) 浜野 幸子

長年勤務してきた職場を退職し、新たな場所へと不安もありましたが、「ともの家」に勤務させて頂き、医療の依存度が高いご利用者様等、援助させて頂き新たな知識を学ばさせて頂けたりと、忘れがたい事等、初心に戻り働かせて

頂いています。現場の介護職員の方々のスキルも高く、一人ひとりが自分の役割を果たし良質な人間関係があるからこそ、質の高いサービスが提供出来ているのではと実感しています。ご利用者様、ご家族様、多職種と関わりを持ちながら、ご利用者様やご家族の話をしっかりと聞ける、理解する能力を身に着け、出来る事ややりたいことを引き出し、ケアマネージャーとして気づいていない先の備えが提案できるような努めていきたいです。

(調理) 汐崎 榮子

前回勤めさせて頂いた時、色々な事が有り一度退職致しました。今回、宇佐美さんより声をかけて頂き、自信がないまま勤めさせて頂きましたが、今回は皆さんより親切にして頂き、毎日大変楽しく勤めさせて頂いております。

これからもこのまま仕事が続けられれば幸せと思えます。感謝、感謝の毎日です。今後共宜しく願います。

まだ勤めて三ヶ月、毎日が楽しく仲間と過ごしていければ幸せです。もう少したつてから色々と考えていきたいと思えます。

がちです。

つまり人間の主観がより客観的になってそれが普遍的、絶対的な尺度になるということが受容できず、ものや学歴、地位等で人間を評価しているということになります。これは人間の手を離れたものによる評価がより客観的であるとしているからです。人間は自分と自己自身が深く真に向き合ってこそ人間の本質が突き詰められると同時に、人間の苦しみや弱さを真に味わえることが出来ます。自己洞察こそ他者理解の根幹です。自己の人間性に対する深い洞察が他者という人間一般に拡大されることにより、その人の普遍的な人間学となります。人の行動、言動には必ずその人なりの理由があります。この理由を相手の立場になって理解していくことができないと、相手のことを考えない早飲み込みや、一方的に自分の立場や意見のみを主張する、ということになって共感を生じません。社会福祉に携わる人間の専門性とは、人間学に裏打ちされた人間を見る能力です。それは相手との会話や艱難辛苦、悲喜こもごも、共感的理解の受容等といったすべての行為の中に求められる深い人間的洞察です。人間性という技巧の上に社会福祉の科学的知識と技術が身に着けられることが、福祉携わる人間の本来あるべき姿だと思います。



## 新人紹介

☆重黒木 さち子 グループホームとも 介護員  
平成三十年二月一日 入職

☆二階堂 恵子 あおいの家 介護員  
平成三十年三月一日 入職

## 心の窓

人を不安にするものは、事柄そのものではなく、むしろそれに関する人の考えである。

(ヒルティ 幸福論より)



## 編集後記

私ことこの三月末日をもちまして退職いたします。長きにわたりお読みいただきまして有難うございました。継続するか否かは、目下検討中です。

終わりに皆様方のご健康とご活躍をお祈りいたします。  
有難うございました。